## 露地季咲き栽培で省力可能な輪ギク品種

農業 • 園芸総合研究所

## 1 取り上げた理由

輪ギクの露地季咲き栽培(自然開花作型)においては、側枝の整理(芽かき)や植物ホルモン(エテホン)散布に多大な労力を要し、生産現場では省力的な生産技術や品種が求められている。そこで、無側枝性が高く、エテホンの散布が不要な栽培方法で需要期出荷可能な品種が明らかになったので、普及情報とする。

## 2 普及情報

- 1)8月咲き品種として「笑の東」,「笑の香」はエテホン無処理の栽培条件で7月下旬~8月上旬に開花し,市場出荷可能な品質(切花長60cm以上)が得られ,無側枝性が比較的高い。両品種とも切花重,葉数,茎径が対照品種を上回り,花首長はほぼ同等で,切花品質が優れる(表1)。
- 2) 対照品種を除く8月咲きの到花日数(摘心日から開花盛期)は88~96日である(表1)。
- 3) 9月咲き品種として、「笑の隼」、「笑の朝」はエテホン無処理の栽培条件で9月上旬~中旬に開花し、市場出荷可能な品質(切花長60cm以上)が得られ、無側枝性が比較的高い。いずれも切花重、葉数、茎径、花首長が対照品種に比べほぼ同等で、切花品質が優れる(表2)。
- 4) 対照品種を除く9月咲きの到花日数は94~100日である(表2)。

#### 3 利活用の留意点

- 1) 平成23~24年に農業・園芸総合研究所(名取市)および南三陸町の露地圃場において、小井戸 薇笑園育成品種を栽培した結果である。
- 2) 平成24年現地試験においては、切花品質調査の実施(9月4日)は開花始期以前であるため、切花長や花首長は開花期までに若干伸長したと思われる。
- 3) 8月咲き挿し芽, 定植, 摘心月日はそれぞれ以下のとおりである。 平成23年4月11日, 4月25日, 5月9日, 平成24年4月17日, 5月7日, 5月3日
- 4) 9月咲き挿し芽, 定植, 摘心月日はそれぞれ以下のとおりである。 平成23年5月10日, 5月24日, 6月7日, 平成24年5月16日(深志の匠は6月6日), 6月13日, 6月14日
- 5) 栽植様式および施肥条件は以下のとおりである。 場内圃場:ベッド幅90cm, 通路50cm, 株間15cm, 条間15cm, 中央部のみ30cmの4条植え 南三陸町圃場:ベッド幅65cm, 通路75cm, 株間15cmの4条植え 摘心後側枝を2本に整理, 場内試験では基肥としてa当たりN成分量で1.5kg, 追肥として1.0 kg施用した。
- 6) 需要期開花や切花長確保には定植(摘心)等の適期作業が前提なので、圃場条件を考慮しつつ地域の栽培暦を遵守する。

(問い合わせ先:農業・園芸総合研究所園芸栽培部 電話022-383-8132)

# 4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

寒冷地に適した低コストで環境にやさしい花き生産技術の確立 平成22~24年

### 2) 参考データ

表1 夏秋ギク型輪ギクの露地季咲き栽培における特性(8月咲き)

NE SOLO TIMO A METAL MANAGEMENT												
				88 <del>11 ct; 11</del> 0	到花日数	切花品質						
年度	品種名	花色	開花始期	開花盛期 注1)	到1C口致 (日)注2)	切花長	切花重	葉数	茎径	花首長	無側枝性	
				(土1)	(日/注2)	(cm)	(g)	(枚)	(mm)	(cm)	注3)	
平成23年		黄	8月3日	8月12日	95	94.2	66.2	39.2	6.2	4.2	3	
	スーパーイエロー(対照)		7月13日	7月29日	81	70.3	45.4	26.7	6.2	3.7	1	
	笑の香	赤	7月22日	8月5日	88	91.5	65.0	36.1	6.7	5.5	3	
	夏の幸(対照)		7月13日	7月25日	77	68.2	55.4	26.7	7.3	3.6	1	
平成24年	笑の東	黄	7月30日	8月6日	95	76.1	65.2	43.0	7.4	1.7	3	
(現地試験)	笑の香	赤	7月31日	8月7日	96	83.3	65.3	42.6	7.3	2.2	3	
	夏の幸(対照)		7月23日	7月30日	88	61.6	38.7	32.0	6.5	1.8	1	

注1)50%開花時(平成24年現地試験は開花始期に7日を加えた推定日)

#### 表2 夏秋ギク型輪ギクの露地季咲き栽培における特性(9月咲き)

				開花盛期	到花日数	切花品質						
年度	品種名	花色	開花始期	用化 <u></u> 始期 注1)	(日)注2)	切花長	切花重	葉数	茎径	花首長	無側枝性	
				11.17	(日/狂2)	(cm)	(g)	(枚)	(mm)	(cm)	注3)	
平成23年	笑の隼	黄	9月2日	9月9日	94	79.3	71.5	48.2	6.5	2.2	3	
	深志の匠(対照)		9月12日	9月12日	97	96.4	84.1	46.0	7.3	3.6	3	
	笑の朝	白	9月9日	9月15日	100	96.4	81.5	53.7	7.7	2.4	3	
平成24年		黄	9月10日	9月15日	94	84.6	93.3	51.7	8.0	1.1	3	
(現地試験)	深志の匠(対照)		9月14日	9月19日	98	95.6	83.5	49.4	7.0	1.0	3	
	笑の朝	白	9月15日	9月20日	99	85.6	78.5	54.5	8.1	0.8	4	

注1)50%開花時(平成24年現地試験は開花始期に5日を加えた推定日)

- 3) 発表論文等 なし
- 4) 共同研究機関 なし

注2) 摘心日から開花盛期までの日数

注3)側芽の発生が上部から1~2本を4,3~10本を3,11~20本を2,21本以上を1とした

注2)摘心日から開花盛期までの日数

注3)側芽の発生が上部から1~2本を4,3~10本を3,11~20本を2,21本以上を1とした